

長島町立中学校再編に伴う基本構想（案）パブリックコメントに対する町の考え方

※ いただいたご意見の原文のままを記載しています。

No.	意見内容	町の考え方
1	敷地面積からすると、長島高校跡地が最適だと思います。建物は、県で解体して頂けるように話し合いを。以前の暗いイメージの県道から、まっすぐで明るい県道に。スクールバスのスペースも十分に取れる。	再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。 長島高校跡地の解体については、県へ要望してまいります。
2	鷹巣中学校の跡地に、鷹巣小学校を（新築・改築）鷹巣小学校の跡地を、公園と一般駐車場に（役場職員用・陸上競技場用）将来的には、役場建設用地に利用すべき	再編後の土地利用については、基本計画決定後に検討を行うこととしております。
3	長島中学校跡地に、小学校を（城川内・蔵之元小を）	再編後の跡地利用については、基本計画の決定後に中学校の見通しが立ってから、検討を行うこととしております。
4	中学校一校は、保護者の願いでもありますので、早急に実施すべき。（長島の子どものために）	基本計画の中で財源の確保等についても検討を行い、できるだけ早期に中学校の再編整備を行ってまいります。
5	①コスト試算について 建物改修や修繕の費用を試算して比較していますが、町が負担すべき運営コスト（学校維持運営費や通学バスにかかる費用、会計年度任用職員を含む教職員の人件費など）の試算も必要ではないでしょうか。 学校数が減ることにより、人件費や光熱水道費は減るでしょうが、通学バス等新たに増える負担もあるはずで。そこも明らかにして、コスト試算を示していただければより分かりやすいと思います。	コスト試算については、基本計画の中で鷹巣中学校の場合と長島高校跡地の場合の整備・維持管理にかかるコスト（通学バス含む）を比較検討することとしております。 なお、人件費等については、再編先が鷹巣中学校と長島高校跡地のいずれの場合でもコストに違いが生じないため、試算は予定しておりません。
6	②新中学校の候補地について 「新中学校」という理念からいけば、新しい土地である元長島高校跡地が最適地であると思います。 鷹巣中学校の土地を利用するとなると、他の中学校が鷹巣中学校へ統合された、または吸収されたとなり、鷹巣中学校以外の地域及び生徒の理解が得られるとは思いません。また、鷹巣中学校に校舎その他を建て増す際	再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。

	に、十分な土地があるとは言えませんし、何より鷹巣中学校自体が、遺跡である高羅城の跡地の上に建っており、文化財保護の観点からもこれ以上基礎工事を行うことが難しいのではないのかと思います。	
7	<p>個人的な意見ですが、現在の長島町の状況からすると、中学校および小学校の再編は避けては通れない問題であり、取り組むべき喫緊の課題と考えます。地域のメンツや意地の張り合い、郷愁などによってこの課題の解決が長引く、または白紙に戻ることが無いよう願います。</p> <p>新しい中学校にどれだけお金をかけて、どこに建てるか、という「器」の話は大人が早急に決めて、どんな学校にしたいかという「中身」の話を子供たちにじっくり話し合わせて、鹿児島県だけでなく、全国にも誇れる新しい学校ができることを願います。</p>	<p>学校の再編については、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p> <p>再編後の中学校の具体的な整備内容(どんな学校にしたいか)については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップやアンケート等を通じて、生徒や保護者等関係者の要望を採り入れてまいります。</p>
8	<p>■基本構想(案)全体と一次審査について</p> <p>これまで多くの協議や、各種規則により導き出された一次審査結果については異論もなく賛成です。よりよい学習生活がおくれるよう引き続き多くの視点からご検討いただきますようお願い致します。</p>	<p>ご理解ありがとうございます。あらゆる角度から検討してまいります。</p>
9	<p>■議論を深めるために得たい情報</p> <p>基本構想(案)の中で見つけることのできない情報があったので、現段階で決まっているor今後検討する等があれば、下記内容の公表を検討いただきたいと思います。</p> <p>A:人員体制(構成)やコスト(人件費)について</p> <p>P6にコスト試算結果まとめを記載いただいておりますが、比較材料として、「従来型～統合再編その2」毎の教師、及び運営に付随する人員体制やコストがわかれば比較しやすいように思えます。特に教師に関しては全国でも人材不足になっており、体制の実現性とそれに関するコストは、再編の内容にも大きく関わってくるものと考えます。</p>	<p>基本計画において、再編後の中学校の規模を想定するなかで、人員体制(構成)を検討する予定です。</p> <p>なお、人件費等については、再編先が鷹巣中学校と長島高校跡地のいずれの場合でもコストに違いが生じないため、試算は予定しておりません。</p> <p>また、P6のコスト試算結果まとめは、既定の長島町学校施設等長寿命化計画(令和元年12月)を抜粋したもので、基本構想において検討を行ったものではありません(長島町学校施設</p>

	<p>B：教育関連（ソフト面）の選択肢が増えることについて</p> <p>教室の人数や面積等、いわゆるハードに関する情報は充実しているものの、統合することにより実現できる、教育活動等のソフト面への提言が不足しているように思えます。特に自身の経験上、人間形成に非常に有益である部活動の充実による好影響などは、数値的な算出はできなくとも、統合することにより活動機会が増えることで生まれる感情や友情は、住民としてもイメージしやすく、統合に向けての大きなポイントのようにも感じます。</p>	<p>等長寿命化計画の内容は、長島町ホームページ（町政情報⇒行政情報（各課からのお知らせ）⇒教育総務課（2020.4.01 長島町学校施設等長寿命化計画を策定しました））よりご確認ください。）。</p> <p>平成26年3月の長島町立小中学校等統廃合推進委員会からの答申（免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成等のために、1校に編成する）などを受けて、基本構想は策定しておりますことから、再編の前提として教育活動等のソフト面の充実を基本としています（基本構想P1～3をご参照ください。）。</p> <p>例えば、部活動では、再編により生徒数が増えるため、部活の選択肢が増えることなどが想定されます。教育環境に付随する条件も検討してまいります。</p>
10	<p>場所の選定で鷹巣中学校と高校跡地で二か所になった理由が明確にわかるのでいいと思う。ただ新設するとなればその二か所だけをあげるのは難しいと思う。今回の意見でここもあるよ！！というのが出ればそこが条件をクリアしているのであれば選定に追加しても良いのかなと思います。（新設の場合だけ）</p>	<p>これまでの中学校再編の検討の経緯を踏まえ、「鷹巣中学校」、「川床中学校」、「長島中学校」、「長島高校跡地」の4箇所で比較検討しております。適地選定や用地取得の課題等があり、早期の学校再編を望む意見もあることから、新たな候補地を検討の対象とすることは想定していないところです。</p>
11	<p>2か所であれば・・・今後、小中一貫校のことも考えると広い敷地のほうがいいと思う。交通の面でも鷹巣中のほうが近くにいろいろあるので便利かもしれないが、交通量が少ないほうが安全だと思うので個人的には高校跡地がいいです。（便利<安全）</p>	<p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針（令和4年6月24日改訂）より校地計画（抜粋）」に沿って検討してまいります。</p>
12	<p>気になったのは高校跡地の建物がどこまで劣化がすすんでいるのかということでした。使えるのなら改修して使用したほうが金額からいえばいいのですが、長く使用してほしいので子供たちが使いやすい子供たち目線の建物にしてほしいです。（目先の利益よりも子供たちの未来に投資）</p>	<p>長島高校跡地については、専門家の意見を聞き、費用負担も調査いたします。再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針（令和4年6月24日改訂）より校地計画（抜粋）」に沿って検討してまいります。</p>
13	<p>親だけでなく、中学生や小学生本人たちが何</p>	<p>再編後の中学校の具体的な整備内容について</p>

	<p>もしいか（今できなくて再編することで可能になりそうなこと）を本人たちが発言、考える場があればもっと積極的に考えてくれるのかなと思いました。自分たちで考えて作ったとなれば学校への愛着も増す。</p>	<p>は、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。</p>
14	<p>子供たちが将来を選ぶことができる自由な発想を持ち続けるには周りの大人の助けが必要です。学校は勉強だけでなく様々な経験を通して子供を成長させてくれるところです。子供のことを第一に考えた再編になるようお願いいたします。</p>	<p>再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。</p>
15	<p>新中学校用地選定の一次判定として、「鷹巣中学校」及び「長島高校跡地」が選定されています。今後は二次判定等で選定されていくことになると思いますが、私は「長島高校跡地」が相応しいと思います。</p> <p>理由①将来の施設需要に十分対応できるため。</p> <p>既存の鷹巣中学校となると一部新設（既存活用一部改修）になると考えられます。再編に伴う一部新設を行ったとしても、数年後には既存施設の経年劣化に伴う改修を行う必要が生じるのではないのでしょうか。全面新設となると財政上の問題もあると思いますが、将来的な観点を考慮すると長島高校跡地が最適です。</p> <p>理由②全面新設により、仮設校舎建設の必要がないため。</p> <p>一部新設（既存活用一部改修）だと、仮設校舎が必要になると考えられます。一部生徒が仮設校舎で学校生活を送ることになり、中学校再編に伴う犠牲を被る生徒が少なからず発生します。再編に伴い、既存施設改修で対応するのではなく、新設により新中学校として各校の伝統を引き継ぎつつ、再出発すべきだと思います。</p>	<p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p>
16	<p>小学校の基本構想（案）は？</p> <p>小、中学校の再編を推進していると言う事なので今回、中学校に限られた構想案である。</p> <p>小学校の再編も組み入れた構想案を提示す</p>	<p>一次的には中学校再編を優先してまいります。</p> <p>本島地区の小学校は鷹巣小学校、川床小学校、城川内小学校、平尾小学校、蔵之元小学校、伊唐小学校の6校に再編されています。今後も複</p>

	<p>べきと考えます。</p> <p>理由：小学校も校舎など老朽化が進んでいる、生徒数減少が加速している。近い将来学校規模を保てない。</p>	<p>式学級の解消を図るため、統合再編を進めてまいります。</p> <p>なお、老朽化した小学校の校舎等は、令和元年策定の長島町学校施設等長寿命化計画に基づき、順次改修等を行ってまいります。</p>
17	<p>基本構想（案）P3の2基本構想の位置づけも中学校のみ小学校は？</p> <p>小中一貫校や義務教育学校についても検討するとの方針があるが、この検討は十分にされているのか？基本構想（案）にも説明がない。</p>	<p>本島地区の小学校は鷹巣小学校、川床小学校、城川内小学校、平尾小学校、蔵之元小学校、伊唐小学校の6校に再編されています。今後も複式学級の解消を図るため、統合再編を進めてまいります。</p> <p>現在の児童・生徒数を勘案すると、現時点での小中一貫校や義務教育学校の設置は時期尚早と考えております。このため、中学校の再編整備を優先し、将来的に少子化が進行した場合に、改めて小中一貫校や義務教育学校の検討を行ってまいります。</p>
18	<p>P6のコスト試算結果まとめについて各パターンの詳細を明記してほしい。</p> <p>①統合再編その1（本島地区1校、小学校4校）の場合、中学校をどこにするかでそれぞれの試算は？</p> <p>例：鷹巣中学校、高校跡地、その他新規場所など</p> <p>小学校4校のそれぞれの予防保全コストは？</p> <p>②統合再編その2</p> <p>中学校を1校、義務教育学校1校の場合、場所の計画でそれぞれの試算は？</p> <p>例：義務教育学校を鷹巣中にする場合、高校跡地の場合</p> <p>③各パターンで再編された場合の閉校の解体費用コストは？</p>	<p>P6のコスト試算結果まとめは、既定の長島町学校施設等長寿命化計画（令和元年12月）を抜粋したもので、基本構想において検討を行ったものではありません（長島町学校施設等長寿命化計画の内容は、長島町ホームページ（町政情報⇒行政情報（各課からのお知らせ）⇒教育総務課（2020.4.01 長島町学校施設等長寿命化計画を策定しました））よりご確認ください。）。</p> <p>一次的には中学校再編を優先し、再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針（令和4年6月24日改訂）より校地計画（抜粋）」に沿って検討してまいります。</p>
19	<p>それぞれの計画に基づき、スクールバス、給食センター、教員住宅などの再編計画は？</p>	<p>スクールバスの台数や駐車場の確保等は再編予定地検討の要素となりますので、基本計画において検討を行ってまいります。</p> <p>給食センターは、新中学校の候補地が決定した後、その整備の方向について検討してまいります。</p> <p>教員住宅は、既存住宅の活用を基本とし、不足が生じた場合は民間賃貸住宅の利活用も検討</p>

		してまいります。
20	幼稚園はどうするのか？	現時点では、幼稚園の再編等の検討は行っておりません。保護者の意見等を聴き、尊重してまいります。
21	候補地の選定について 新規候補地は検討しているのか。鷹巣中の場合、敷地面積、形状はクリアーするのか？	これまでの中学校再編の検討の経緯を踏まえ、「鷹巣中学校」、「川床中学校」、「長島中学校」、「長島高校跡地」の4箇所で比較検討しております。適地選定や用地取得の課題等があり、早期の学校再編を望む意見もあることから、新たな候補地を検討の対象とすることは想定しておりません。 なお、鷹巣中学校の敷地面積は文部科学省が定める中学校設置基準による運動場の面積が確保されています（P20参照）が、その形状や建物配置等については基本計画の中で検証することとしております。
22	目指す学校像を明確にしてほしい。 ハード面に於いての構想案がほとんどであり、P4の上位指針の住民協働の可能性、子供たちの未来を考えた多様な計画、こんな学校へ通いたい、こんな学校があれば長島で住みたい、子育てしたい。など内外の意見を募集するなど検討して欲しい。また長島の特徴を十分に取り入れた計画を。	基本計画の検討にあたっては、近い将来、中学入学予定の子どもがいる家庭等を対象にアンケート調査を行い、計画の参考とすることとしております。 また、再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。
23	情報発信・住民説明を丁寧に且つタイムリーに 住民が学校再編へむけて意識、知識を得る為、長島町広報誌などで、毎月特集を組むなど、情報共有、発信を工夫してほしい。各委員会の状況・他の自治体の事例など。	広報「ながしま」や町のホームページ、町のLINE等で発信している情報の充実を図ってまいります。
24	子育て世代、若者の意見を十分に聞き、討論する機会を十分に行って欲しい。	基本計画の検討にあたっては、近い将来、中学入学予定の子どもがいる家庭等を対象にアンケート調査を行い、計画の参考とすることとしております。
25	本案は学校のハード面（場所、建物、交通）のことのみの基本構想であり、学校のソフト面（学制、教育方針、目標等）のことが一切取り上げられていない。 今後、50年、100年を生きていく大切な長島の子供たちに、なにを学んでもらうのか、ど	平成26年3月の長島町立小中学校等統廃合推進委員会からの答申（免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成等のために、1校に編成する）などを受けて、基本構想は策定しておりますことから、再編の前提として教育活動等のソフト面の充実を基本としております。

	<p>んな形で、何のために、がない。</p> <p>有識者、教育問題コンサルタント、学識経験者（大学教授）等を招へいし、教育に関する情報を町民に公開、共有して、町民（子供から大人まで）参加で検討、ソフトを含めた基本構想を策定すべきである。</p> <p>新しい時代の学びの環境整備を次の手順で策定する。</p> <p>1 町民（親子）参加で、目指す新しい学校検討会（ワークショップ）</p> <p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大人になったとき、長島町で育ち暮らした経験が心の中にある。豊かな自然の中で思い切り遊ぶことが、人としての土台を作る。 ●「楽しく学ぶ」・・・先進校参照「軽井沢風越学園」 <p>学び続けることが楽しいと思う町民が増える。→町づくりに</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人生 100 年時代、子供達が主体的に学び、自分で自分の人生を創っていく、生涯学び続けるための基礎づくり。・・・講師招へい：東大教育学研究科 	<p>（基本構想P 1～3をご参照ください。）</p> <p>なお、中学校の再編は平成 18 年の合併以降、長年議論されてきたものであることから、有識者や教育問題コンサルタント、学識経験者等による新たな検討組織の設置は考えていないところです。</p>
26	<p>2 保護者アンケートの実施・・・新しい学校づくりに関するアイデア募集</p> <p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特異な分野を深く学ぶ時間があるとよい。 ●異なる年齢の交流ができるとよい。 ●地域性を考え、地域に開かれた学校を目指す。 ●温度調整の効いた、木の温もりを感じられる校舎が良い。 	<p>基本計画の検討にあたっては、近い将来、中学入学予定の子どもがいる家庭等を対象にアンケート調査を行い、計画の参考とすることとしております。</p> <p>また、再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。</p>
27	<p>3 あったらしいな・・・新しい学校にあっらしいなと思うアイデア募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子供たちの作品や保護者アンケートなどを展示 ●書道の出張学習塾、英語教室、こんな学校あったらしいな発表会 	<p>基本計画の検討にあたっては、近い将来、中学入学予定の子どもがいる家庭等を対象にアンケート調査を行い、計画の参考とすることとしております。</p> <p>また、再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。</p>
28	4 長島学園（仮称）基本構想（趣旨）	現在の児童・生徒数を勘案すると、現時点での

	<p>新しい学校づくりの基本は、育てる学校（教え込む学校）から、育つ学校（学び取る学校）へを目指す。</p> <p>子どもは、学校だけでなく、家庭からも地域全体からも学ぶという基本的な考え方に立ち、地域住民も利用しやすく関わり合いを持てる学校を目指す。</p> <p>具体的には、小学校と中学校を9年間の義務教育学校・長島学園（町内に1校と限定するものではない）とし、『町の人とともにつくる幼・小・中一貫した教育の実現にむけて』を基本に、①町の人とつくる学校②自然を活かした、地域に学ぶ教育③グローバル化を見すえた外国語教育の充実、とする。</p> <p>「多面的な考え、自己肯定感を持てる！」子供に・・・</p>	<p>小中一貫校や義務教育学校の設置は時期尚早と考えております。このため、中学校の再編整備を優先し、将来的に少子化が進行した場合に、改めて小中一貫校や義務教育学校の検討を行ってまいります。</p>
29	<p>5 課題：建設場所、建物の検討</p> <p>「島」を活かせる場所。</p> <p>海、空、星、おいしい空気、自然景観、地域との交流、交通便等々を考慮して。</p> <p>既成の「中学校再編予定地（案）」から、いったん離れ、50年後、100年後を生きねばならない子供たちのため、50年後、100年後でも遜色がない学校、今の私たちにできる最高の学校づくりを目指すべき。</p>	<p>これまでの中学校再編の検討の経緯を踏まえ、「鷹巣中学校」、「川床中学校」、「長島中学校」、「長島高校跡地」の4箇所と比較検討しております。早期の学校再編を望む意見もあることから、新たな候補地を検討の対象とすることは想定していないところです。</p> <p>また、再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。</p>
30	<p>長島高校跡地を希望</p> <p>広さもあるため、今後は小学校の合併など、のちのちは小中一貫校なども視野に入れて、自然豊かな長島町なので、その特徴を生かした学校づくりをしてほしいです。また、魅力的な学校を作ることにより、町外から、この学校で子供たちを通わせたいと思えるような学校づくりを希望します。もう一つは新たに新設することにより、老朽化の心配や施設整備などの改修問題も解決し、環境の良さも町外の方へのアピールに繋がると思います。</p> <p>また、場所が旧東町、旧長島町の間にあることから、通学距離なども平均的になるのではと思います。</p>	<p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p> <p>なお、再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップやアンケート等を通じて生徒や保護者等関係者の要望を採り入れてまいります。</p>

31	<p>沢山、検討をされているのは重々承知の上ですが、現在の子育て世代の方々が新たな学校に一番関わると思うので、子育て世代の方々への傾聴、要望も取り入れてもらえるような形もほしいです。</p>	<p>基本計画の検討にあたっては、近い将来、中学入学予定の子どもがいる家庭等を対象にアンケート調査を行い、計画の参考とすることとしております。</p>
32	<p>住民にとって中学校は母校であり、地域社会の中心でもあります。町内に4つある中学校のどこかを採用することは、町民の不平等感や疎外感をあおることになります。それよりは、町内で唯一であり町内中から生徒が通っていた実績があり、敷地も広い長島高校跡地がよいと考えます。</p> <p>また、進行の度合はちがえど、どの中学校も生徒の減少が著しく、変わりばえのない少人数での学校生活を15才まですごしたことで、価値観や知識の傾きが生まれ、高校でなじめない子どももたくさんいます。一部の教科の先生がいらっやらないことも、子どもたちの力が伸びる方向をせばめ、人数が少ないからこそ個々人に向きあって教育が出来そうなところを進める道の数制限を制限してしまっています。この人数や土壌をいかしつつ、多様な人材を育てることが長島町の教育には足りていないと感じています。</p> <p>子どもたちや町民にとって疑問や不安のない統廃合を出身者として期待しています。</p>	<p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは今後策定する基本計画の中で検討を行い、明らかにしてまいります。</p>
33	<p>私は、対象中学校（長島中学校）のPTA会員です。将来的には1校に集約される可能性が高いことは、多くの長島本島地区住民の方が共有することではないかと思えます。</p> <p>平成27年の1校への再編案が議会で否決されたこと等の原因は、再編の「手法」とそれに伴う「時間軸」の考え方にあるのではないかと思えます。つまり、対象となる4中学校ごとに規模や地域性など事情は異なり、該当校区内住民間での再編の周知やコンセンサスが感じられない現状です。話題にできない空気すら感じます。</p> <p>・手法について 事情が異なる4校を同じタイミングで一気</p>	<p>平成27年に長島高校跡地への中学校1校案が否決された後、2校案を提示しましたがまとまらなかった経緯があります。</p> <p>平成26年3月の長島町立小中学校等統廃合推進委員会からの答申(免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成等のために、1校に編成する)などを受けて、基本構想は策定しております。免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成という目標を達成するためには、一定の生徒数規模が必要となることから、段階的な再編は考えていないところです。</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所による将来予測では、2015年からの30年間で本町の10～14</p>

に1校に再編するというところに、理解が深まっていないのではないかと思います。過去の再編案がまとまらなかった大きな要因の一つと考えます。

翻って、小学校の再編については、産みの苦しみは想像に難くないものの、該当学校関係者を中心とした校区内の住民の方の努力により再編が進んできたのではないかと感じています。(私の校区では、汐見小学校が城川内小学校に統合された例があります。)

つきましては、小学校の再編の実績(経値)を踏まえて、中学校の再編についても4校を同じタイミングではなく校区の事情を合わせたタイミングで、統合についてのコンセンサスを見出しつつ進めていけばいいのではないかと思います。

つまり、4校→3校→2校→1校という再編手法ということになります。その際の場所としては、財政的面も考慮されるべきだとも思いますが、既存校舎の活用を前提に、1校への集約の前段階の2校時には長島町の行政拠点に倣い、鷹巣中学校、長島中学校の2校案をベースに最終的に鷹巣中学校1校案が考えられます。1校になる段階においては、旧長島高校跡地も考慮されても良いと思います。

また、学校の再編問題については、全国的な課題であると思いますが、構想(案)には近隣自治体、県内自治体の事例などの資料がなく町民としては判断しづらい状況です。

・時間軸の考え方について

本島内4校→3校→2校→1校の時間軸については、対象4中学校の生徒数の推移が参考となりますが、本島内4校別の生徒数の推移の実数は、構想(案)からは読み取れませんが、本島内4校の生徒数の合計の推移は、構想(案)7ページに記載があります。令和5年259名、10年後の令和15年236名とあり、10年で約8.9%の減少となる。これを、私がPTA会員である長島中学校に当てはめる

歳人口は約半減すると予測されていることから、長島町の移住促進策による人口増の中学校再編に対する影響は小さいと考えております。また、特定技能2号の対象分野に本町の基幹産業である農業、漁業などの分野が追加されたところではありますが、ご意見のとおり、これが本町の人口及び年代構成にどのように影響するかを現時点で見通すことは困難なため、基本構想の作成に際しては考慮していないところです。

近隣自治体や県内自治体の事例につきましては、各自治体のホームページ(例:日置市立日吉学園、薩摩川内市立東郷学園義務教育学校、さつま町立宮之城中学校)でご確認いただくか、長島町教育委員会教育総務課までお問い合わせください。

と令和5年73名（構想（案）11頁参照）、令和15年66名（66.5名、小数点以下切捨て）となります。（単純に計算で各学年1クラス22人）この数字をどう受け止めるかについては個人差があると思われませんが、私は長島中学校の10年後が今と比較して単独校として存立し得ない状況とは言い難いと感じています。

つまり、時間軸については20年、30年先を見通す長期的視野が必要であると同時に、対象4校の個別事情への配慮が必要だと思います。

さらに、冒頭で「将来的には1校に集約される可能性が高い」と書きましたが、行政が推進する今後の長島町の人口増政策（移住促進策）や熟練外国人労働者として永住が可能な在留資格「特定技能2号」に農業、漁業などの分野が追加される方針が固まった令和5年6月9日の閣議決定の影響次第では、例えば上記長島中学校の10年間での3学年合計で7名減は、本島内の生徒数合計の推移を見ても、増加に転じる可能性もありうるのではないのでしょうか？本町の主力産業である漁業、農業への外国人参加、永住が全国レベルで実現の動きとなれば、現在の日本の人口構造（長少子高齢化、晩婚化など）とは全く別に、「特定技能2号」資格を持つ外国人の子供たちが誕生する可能性があり、その子供たちの学び舎は必要になってくると考えられます。

・まとめ

今回意見募集されている構想（案）については、先述の通り、以下の理由で修正を希望します。

①4校を1校に、同じタイミングで一気に統合しようとするのは、過去の議会の否決実績などからも町民全体の理解を得られない可能性が高いと考える。

②対象校4校について、各校個別の事情が異なるためその配慮が必要と考える。

③判断する材料として、近隣自治体や県内自

	<p>治体の事例も考慮して判断するのが妥当と考える。該当資料の提供を求めます。</p> <p>④構想（案）は、4校を1校へ統合することありきで構成されており、その背景には生徒数の減少という背景のみで語られています。平成27年の1校統合案否決以後、当時想定されていなかった『熟練外国人労働者として永住が可能な在留資格「特定技能2号」に農業、漁業などの分野が追加される方針が固まった令和5年6月9日の閣議決定』があり、この閣議決定はこの構想（案）では考慮された形跡がうかがえません。これは人口増の可能性をはらむ国家政策であり、その影響現を時点で見通すことは困難です。この人口変動に影響を与える重大要素が考慮されていない構想（案）は修正が必要だと思います。</p> <p>・最後に</p> <p>私は、東京から移住してきた者です。現在0歳児も抱えている子育て世帯です。本件については自分事として興味関心があるというより将来の我が子の通学や自分のPTA活動の参加を考えると生活そのもの事案です。</p> <p>同じような人、特に長島町へ移住を考えている人にとっては、義務教育の拠点は、保育施設、行政拠点、病院と合わせて大きな移住の判断要素となります。私自身の移住体験に基づく意見です。</p> <p>構想（案）の策定においては、各対象校区の住民の皆様の意見のみならず、将来長島町民となる可能性のある外国人、国内からの移住者の視点を考慮して行われることを希望します。</p>	
34	<p>新中学校の位置について</p> <p>新中学校の位置については旧長島高校跡地の方が</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧長島町民からの反発が少ないと予想されること ・敷地面積が倍以上で余裕があること ・周辺道路が広く、交通量も少なく、見通しも良いため 	<p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p>

	<p>お迎えの車があっても大して邪魔にならないことから良いと思います。</p>	
35	<p>更衣室・トイレ等の各種部屋について</p> <p>(1) 職員専用の更衣室・トイレを設ける必要性を感じないです。更衣室・トイレは職員(教員)の目が届きにくく、いじめの現場になることが多いため、職員にも同じ更衣室・トイレを使わせた方が、「いじめ」や「いやがらせ」の未然予防に繋がると思います(現在、多くのお店では防犯上の観点から店員がお客さんと同じトイレを利用しているところが多いことから。)</p> <p>(2) 学校内に1つでもいいのでトランスジェンダー等に配慮した更衣室・トイレを設置したほうが余計なトラブル防止に繋がるとかと思えます。</p> <p>(3) 放送機器は昭和の時代と比べ小型化しているので、特別に部屋を設けなくても、職員室や視聴覚室の一角でいいのではないのでしょうか。</p>	<p>職員のプライバシー確保、働きやすい職場形成の観点から、職員用と生徒用の更衣室・トイレは分けて設けることとしております。</p> <p>なお、ご意見のとおり、トイレ等が「いじめ」の温床となることを避けるため、基本設計において配置には十分に配慮することとしております。</p> <p>文部科学省が目標とするバリアフリートイレの整備にあたっては、誰でも利用可能な「多目的トイレ」とすることを検討してまいります。</p> <p>防音の必要等も考えられるため、基本設計の中で放送機器の性能や利用形態を勘案し、検討してまいります。</p> <p>また、再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。</p>
36	<p>長島町に転入してでも通いたくなるお洒落な外観に</p> <p>京都市立御池中学校など一部の学校ではその外観の良さから、他の学区の親が子供をその学校に通わせるため、学区内に転居するというをよく聞きます。どうせ解体・新築するのなら同志社大や立命館大(朱雀キャンパス)等のようにパッと見で「通いたくなる」・「通わせたいくなる」ような学校を建設してはいかがでしょうか。</p>	<p>再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。</p>
37	<p>新中学校の再編について</p> <p>1校ではなく、現在二次判定まで選定されている2校での再編を希望します。</p> <p>理由:卒業までトラブルなく学校生活が送れるのであれば1校への再編に賛成なのですが、1校に限定された場合、子どものいじめ</p>	<p>平成27年に長島高校跡地への中学校1校案が否決された後、2校案を提示しましたがまとまらなかった経緯があります。</p> <p>平成26年3月の長島町立小中学校等統廃合推進委員会からの答申(免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成等のために、1校</p>

	<p>や、保護者間でのトラブル、その他何らかの理由等でその中学校に通えない状況になってしまった場合に、町内に他の学校が無く、長島から出ていくしか方法がありません（結果として人口減少にも繋がります）。</p> <p>何かあった際に、町内に別の学校に通うことができるという選択肢を残すことで当事者間の居場所も守れると思いますので、2校での再編を希望します。</p> <p>（実際に自分が長島での生活を決めた理由の一つは、子どもの学校を選択できたことでした）</p>	<p>に編成する）などを受けて、基本構想は策定されております。免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成という目標を達成するためには、一定の生徒数規模が必要となることから、2校での再編は考えていないところです。</p>
38	<p>新中学校の選定について</p> <p>1校での再編であれば長島高校跡地を希望します。</p> <p>理由：スクールバスに抵抗があり、自家用車で我が子を送りたいという保護者の方の意見をよく耳にします（私もその一人です）。合併後の中学校が鷹巣になった場合、旧長島町エリアに住む私たちからすると極端に東側に偏ってしまうイメージがあり、毎日送迎することは難しいではないかと感じてしまいます。</p> <p>また、部活でバスに乗れない時や災害発生時など、子供を送迎しないといけない状況になった時、現鷹巣中学校の場所では学校前の道路が狭く、あまり停車場もありません。長島高校跡地であれば道路も広く、交通量も少ないので、お迎えが集中してもあまり危なくないと思われるので長島高校跡地の方がいいと思います。</p>	<p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p>
39	<p>第1希望 長島高校跡地に中学校を1校案</p> <p>理由：敷地的に十分確保でき、各学年約30名×3学年で免許教科外教科担任の解消と部活動や学習集団の弾力的な編成が可能</p> <p>鷹巣中学校への1校案は駐車場などの敷地が確保できないうえに旧長島町区域の生徒の通学に時間がかかる。</p> <p>第2希望</p>	<p>学校の再編については、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p>

	<p>中学校 2 校案 長島中学校は土砂災害区域であるため、町営の城川内グラウンド上の敷地を造成し小中一貫校として開設</p>	<p>平成 27 年に長島高校跡地への中学校 1 校案が否決された後、2 校案を提示しましたがまとまらなかった経緯があります。</p> <p>平成 26 年 3 月の長島町立小中学校等統廃合推進委員会からの答申(免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成等のために、1 校に編成する)などを受けて、基本構想は策定しております。免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成という目標を達成するためには、一定の生徒数規模が必要となることから、段階的な再編は考えていないところです。</p>
40	<p>検討委員会からの答申について (2 ページ) 答申の内容については上部県教育委員会からの指導方針に基づくものと思われる。 原案作りも県の指導方針に基づき町教育委員会でまとめたものと思われる。 そのような流れの中でその場所にいた人達はその原案に添える意見となったものと思われる。 再編ありとなった場合、旧両町の感情は今のところ選挙のつながりは一応落ちついていると思われるが財産、施設、人のつながり文化は昔のまま残っているものと思われる。その流れは消えていないと思うので両町に 1 校ずつ残してほしい。</p> <p>専門語句がある(免許教科外教育担任)わかりやすく表現してほしい。(住民は理解でないのではないか。)</p> <p>基本構想位置づけで記してある、住民説明会が具体的な説明がない。</p> <p>小学校、校区ごとに実施するのか、大字ごとにするのか。</p> <p>集落ごとにすみずみの声を聞く機会を作してほしい。</p> <p>尚 3 ページの規模、機能などについては標準があると思うのでそれに準じて進めてほしい。</p> <p>町立中学校(本島地区)統廃合実施計画にある、中学校統廃合について長島本島の中学校は免許教科担任の解消や学習集団の弾力的</p>	<p>平成 27 年に長島高校跡地への中学校 1 校案が否決された後、2 校案を提示しましたがまとまらなかった経緯があります。</p> <p>平成 26 年 3 月の長島町立小中学校等統廃合推進委員会からの答申(免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成等のために、1 校に編成する)などを受けて、基本構想は策定しております。免許教科外教科担任の解消や学習集団の弾力的な編成という目標を達成するためには、一定の生徒数規模が必要となることから、段階的な再編は考えていないところです。</p>

	<p>な編成等のために1校に編成する、場所は長島高校跡地と記してある。</p> <p>以前高校再編の時、東町、長島町の境界附近にと言う事で（獅子島生徒の通学もある）平尾に決定された経緯もある。</p>	
41	<p>地域に1校ある今の状況で人口が増えれば、それが1番だが、一番生徒数の多い鷹巣中学校区でも1クラスしかなく（たしか？）部活動の数も限られていると聞いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許外教科担任の解消は確実に保障していただくこと（今の状況を知りませんが） ・部活動の充実 ・再編場所は安心安全、通学バスの確保 ・通学ルートの充実 <p>1校にする場合の絶対条件として以上をしっかりと考えていただき、地域住民の意見もありますが、未来の子どもたちのために最善の案で長島の中学校再編を考えていただきたいです。</p> <p>また、中学校における特別支援学級の充実にも力を入れていただき、希望する家庭への情報提供（相談）等をしていただければと思います。すべては長島の未来のために。</p>	<p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p> <p>再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。</p>
42	<ul style="list-style-type: none"> ・町立中学校の1校統合には基本的に賛成。 ・平成27年頃の町議会において否決された案は、県立高校跡地への集約だったと記憶している。高校跡地周辺は、人口や民家が少ないことや夕方から夜間にかけての生徒の安全確保の観点により、賛成しかねる。 ・既存中学校の利用を考えると、鷹巣中学校に集約することが望ましいと考える。理由は、生徒数が一番多く、1校となった場合のスクールバス利用数を抑えることができるからである。さらに、現校舎（教室棟）は他校と比べて、築年数が短く、平成11年当時の規模（各学年2学級程度）の教室の確保もなされている。現在は3学年とも40名弱の1学級であり、各学年、教室とは別に、教具置き場や着替え等のために控え（空き）教室を利用している。 	<p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p>

	<p>・鷹巣地区は、周辺環境や施設（町民総合体育館、町民プール、建設中の新総合運動場、野球場等）が整っており、部活動での利用に便利である。現状の部活動は、人数不足や指導者、活動場所の不足等により、制限されている活動も多いと耳にする。生徒数が増えることにより、生徒が主体的に活動できる場（チーム競技や合唱、吹奏楽等、少人数では体得できない教育活動）等も増えると考えられる。仲間と切磋琢磨しながら、時には、意見がぶつかったり、また、ぶつかることで解決の糸口を見つけたりするためには、ある程度の部活動の選択肢が増えることが望ましい。</p> <p>・近年は、通勤される教職員も多いようだが、町内に居住される場合においては、アパートを含む住居、アクセス、インフラ等、鷹巣地区は充実しており、生活しやすいと考える。</p>	
43	<p>本構想案は、学校建設用地（場所）・経済性（敷地造成、建設、改修、解体、通学）に絞ったことのみで取り上げられております。</p> <p>この問題だけを取り上げて議論（検討）するなら明らかに鷹巣中学校が有利な条件に合致するような気がいたします。しかし、長い目で長島の子供たちの成長を考え、将来的に小・中学校一貫校の構想とか、義務教育学校構想とかに繋げていくなれば初期投資は明らかに大きいけれども、長島高校跡地を積極的に活用することの方が最適なのではないかと考える。</p> <p>長島高校跡地は、面積も申し分ないし、地理的にも最適なのではないかと考える。建物の解体費が発生するが、この点は鹿児島県で負担して頂く方向で調整し、国・県からの補助金を大いに活用し、長島町立中学校の開校へ道筋を立てるべきではないかと考える。</p> <p>二次判定の、環境の安全性・経済性・利便性・快適性は十分に最適な新中学校用地と成り得ると考える。</p> <p>新中学校の整備スケジュール（案）で行くなら全面新設の場合は開校が遅れるが、長い</p>	<p>長島高校跡地の解体については、県へ要望してまいります。</p> <p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p>

	目で将来を見据え、熟慮して将来に禍根を残さない検討・討議を為して決定すべきと考える。	
44	序章-3 上位計画-③長島町学校施設等長寿命化計画 コスト試算については、長島町で雇用する職員（学校主事や図書指導員等）の person 費も勘案されているのでしょうか。それに加え、行事の参加や子どもたちの送迎等の保護者負担も考えると、「統合再編その2」の義務養育学校を新設することが良いと思います。また、義務教育学校を新設となった場合は、町立幼稚園の併設についても検討していただけたらと思います。	P 6 のコスト試算結果まとめは、既定の長島町学校施設等長寿命化計画（令和元年 12 月）を抜粋したもので、基本構想において検討を行ったものではなく、職員の person 費についても含まれておりません。 現在の児童・生徒数を勘案すると、現時点での小中一貫校や義務教育学校の設置は時期尚早と考えております。 このため、中学校の再編整備を優先し、将来的に少子化が進行した場合に、改めて小中一貫校や義務教育学校の検討を行ってまいります。 現時点では、幼稚園の再編等の検討は行っておりません。保護者の意見等を聴き、尊重してまいります。
45	第 3 章新中学校の規模・所要室-2. 新中学校の所要室 体育施設等について、部活動をする上で複数の部が運動場を共用するのはやむを得ないが、既存の部活動が全て継続できるようにテニスコートの整備も検討して欲しいです。	再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。
46	第 5 章新中学校の整備スケジュール（案） 全面新設でも一部新設（既存活用一部改修）でもスケジュールとしては 1 年間しか変わらないことや、鷹巣中学校で一部新設となった場合は工事の騒音や施設利用の制限が予想され学校生活への妨げになりかねないことから、長島高校跡地に全面新設が良いと思います。	再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想 P 19 に記載の「中学校施設整備指針（令和 4 年 6 月 24 日改訂）より校地計画（抜粋）」に沿って検討してまいります。
47	基本構想からは少し逸れますが、学校の再編については、児童生徒や保護者の意見ではなく、「地域から子供の声が消える」という高齢者の意見により推進されているように感じます。地域住民の理解ももちろん大切ですが、児童生徒や保護者等の当事者の意見を最優先に再編を進めていただけたらと思います。	基本計画の検討にあたっては、近い将来、中学入学予定の子どもがいる家庭等を対象にアンケート調査を行い、計画の参考とすることとしております。
48	統廃合について全体的なスケジュールを示	住民説明会は、基本計画（案）策定後、本年末

	す必要がある。特に住民説明会の計画	を目途に中学校区単位で開催する予定です。
49	一次判定で示されたとおり二次判定の2か所について、住民説明会等を経て基本計画を早急に整備すべきである。	基本計画は、住民説明会及びパブリックコメントを経て本年度内を目途に取りまとめる予定です。
50	小、中一貫校にしてほしい。 中途半端に合併しても免許外教科担任の解消や部活動などの環境整備が不十分に終わるおそれがあるためです。	現在の児童・生徒数を勘案すると、現時点での小中一貫校や義務教育学校の設置は時期尚早と考えております。このため、中学校の再編整備を優先し、将来的に少子化が進行した場合に、改めて小中一貫校や義務教育学校の検討を行ってまいります。
51	P18.「25mプールを設けます」とあるが、P22では二次判定(2-⑧)に「体育館、プールなど近隣に共同できる施設があるかを確認」とある。何のためにプールの有無を確認する必要があるのか不明。鷹巣中学校の改修となればプールは引き続き町民プールを使用するというのか。(プール授業の際はこれまでどおり歩かせる?)	二次判定(2-⑧)は、効率的な施設整備の観点から、文部科学省の中学校施設整備指針を参考に、共同利用できる施設の存在を確認するものです。 学校の再編については、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。
52	P22、イニシャルコストのうち「改修」の場合は、「改修費」だけでなく仮設校舎に係る経費も必要であると思うが、子どもたちの仮設校舎への移動やストレスといったデメリットも判定の一つに考慮すべきではないか。	「改修」の場合は、生徒への負担を考慮し、仮設校舎への移転を伴わない整備手法を検討してまいります。
53	2校が土砂災害警戒区域に指定されていることで用地の活用困難となっているが、警戒区域の対策費用も改修費より膨大となるのかということも、裏付けとして必要ではないか。	国土交通省が示す土砂災害警戒区域の解除の要件では、「切土により、勾配30度、または、がけ高5mの要件が満たされなくなった場合」とされています。設計等がないため事業費を算出することは困難ですが、土砂災害警戒区域の解除には大規模な造成が必要となるため、膨大な事業費が必要になるものと考えております。
54	子どもたちへの投資は、例え新設校舎でも決して高いとは思わない。 すでに小学校の母校が閉校している町民は多い。既存施設の改修で、一部の町民にだけ母校が残るのは不公平であり不平等。 新たな場所に新設での中学校を建設し、併せて校歌や校風を刷新し、新中学校は全町民に対して公平にすべきと考える。 町の人口は減少が続いていて、社人研が示す将来人口は2040年で6800人台になることも	再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。 再編後の中学校の具体的な整備内容(どんな学校にしたいか)については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップやアンケート等を通じて、生徒や保護者等関係者の要望を採り入れてまいります。

	<p>予想されている。町内の 10～14 歳の人数で約 300 人となる見通し。地域性重視ではなく、将来の子どもたちのことを第一に考えた基本構想となってほしい。(今後の小学校再編も含めて)</p>	
55	<p>現在の中学校は全部築年数が古い為危険である。皆んな条件を同じにする為に全く新しい場所に安全で耐震性の優れた校舎で学んでもらいたい。</p> <p>部活等も自分のやりたい部活や挑戦してみたい部活をやらせてあげたい。町が合併し一つの町になったのだから、中学校も一校が好ましい。</p> <p>小学校は 2 校案がベストでしょう。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>なお、本島地区の小学校は既に鷹巣小学校、川床小学校、城川内小学校、平尾小学校、蔵之元小学校、伊唐小学校の 6 校に再編されています。今後も複式学級の解消を図るため、統合再編を進めてまいります。</p>
56	<p>学校を統合することは、とても賛成です。しかし、現状、地域住民からの「地元から学校がなくなることの抵抗感」などによって幾度となく延期され、実現されていません。長島町は、とても人口が少なく、高齢者の割合が高い町だから、民意が高齢者の意見に偏るのも理解ができるのですが、「地域住民に愛されている学校だから」とか、「先生と生徒が頑張っているから残してほしい」などの理由で学校統合が進まないのは、好ましくないと感じました。その、民意を変えるためにも、住民投票はすべきだと思います。お金と時間はかかるとは思いますが、MRI を導入するよりは正義があると感じます。これには、当事者である子供たちも参加すべきだと思うので、総合の時間などで、子供たちへの意識づけをしてほしいです。そのためにも、もっと先の具体的な計画を、多くの他地域の有識者と共に議論していくべきだと思う。その中で、施設詳細やスクールバス運営、部活動などの保護者が懸念している点を突き詰めることが重要であると感じました。</p> <p>以上のように、やるべきことはたくさんあるはずなのに、議会の意見が変わってしまったり、子供が利用する学校なのに高齢者の意見が優先されたりして、進めたくても進めら</p>	<p>基本計画の検討にあたっては、近い将来、中学入学予定の子どもがいる家庭等を対象にアンケート調査を行い、計画の参考とすることとしております。</p> <p>なお、再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。</p>

	<p>れない状況になっています。ぜひ、これからは兵庫県明石市の元市長泉房穂さんが行っていたような子供ファーストの行政をしてほしいです。</p>	
<p>57</p>	<p>小・中学校統合再編 生徒数の減少が避けられない中で、住民の理解も得なければならないが、第一に子供たちの教育環境を考えれば、一日でも早い統合をするべきである</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次判定では、川床、長島中学校は土砂災害特別警戒区域での判定終了ではあるが、災害区域を除外する為の方法（概算予算）を示すべきではないのか。 ・長島高校跡地については何故一次判定されず二次判定なのか、全候補地一次判定をするべきではないのか。 ・二次判定 鷹巣中学校 町の中心部であり周りには公益施設、その他の施設（店舗）等が有、利便性が優れ、防犯の面でも、近くに派出所（常時2名）があり、地域的に安心できる環境にある、立地も高い場所にありこれまで自然災害にも耐えうる環境とされている、建物の耐震性が確認されており、増築、改築等により耐久性も得られる、ただ武道館に於いては、建替えが必要である、敷地不足についても近隣住民の理解が得られ、必要とあれば敷地増設も可能である。 長島高校跡地 県有施設であり、廃校後の活用もなく現在に至っている、耐用年数も過ぎ、活用するには全施設建て替えとなり、現施設の解体、グラ 	<p>国土交通省が示す土砂災害警戒区域の解除の要件では、「切土により、勾配30度、または、がけ高5mの要件が満たされなくなった場合」とされています。設計等がないため事業費を算出することは困難ですが、土砂災害警戒区域の解除には大規模な造成が必要となるため、膨大な事業費が必要になるものと考えております。</p> <p>一次判定の結果、「敷地の規模(3,700㎡以上)」と「敷地の安全性」が確認されたため、鷹巣中学校と長島高校跡地が二次判定の対象となっております（P23参照）。</p> <p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p>

	<p>ウンド整備も必要となり前回以上に多額の費用が必要となる、前回の中学校の場所を長島高校跡地とする議案、当時携わり、否決した議案にも関わらず、二次判定へ、何故、長島高校跡地が一次判定もなく、二次判定なのか。早急に概算の予算の積み上げをすべきであるが、多額の予算が必要となるのは、必須である。前回否決した長島高校跡地、立地環境、地域環境、防犯環境、又、町の財政状況を考えれば、当然最適地ではない。今回上程されても前回、同様（当時の意思）の結果とならざるを得ない。</p>	
58	<p>①小学校については複式学級解消のため4校 ②中学校については4校を1校に統合 ③住民説明会を十分にすべき</p>	<p>本島地区の小学校は既に鷹巣小学校、川床小学校、城川内小学校、平尾小学校、蔵之元小学校、伊唐小学校の6校に再編されています。今後も複式学級の解消を図るため、統合再編を進めてまいります。</p> <p>また、中学校については、1校に再編整備するために本基本構想を取りまとめ、今後、基本計画の策定を進めていくこととしております。</p> <p>なお、住民説明会は、基本計画（案）策定後、本年末を目途に中学校区単位で開催する予定です。</p>
59	<p>複式学級解消は賛成です。同学年間という交流、競争のしやすさがあると思います。また、部活動に十分な人数が集まることは学年の違いから先輩後輩の関係性に中学生時点で触れ慣れておくことができ、高一クライシスの解消に繋がると考えます。</p> <p>しかし、今そのタイミングでしょうか。「長島町立中学校再編に伴う基本構想（案）」に提示された情報では、まだ検討の余地ありと考えます。その他の情報でしっかり補強することで、より説得力があるものになると考えました。次に気になる点をいくつか挙げてみたいと思います。</p> <p>①P6、コスト試算結果まとめ ・築年数の大きいものにはアスベストなど当時合法だったものが使われていないでしょうか？処理コストが膨大になるため、解体費</p>	<p>P6のコスト試算結果まとめは、既定の長島町学校施設等長寿命化計画（令和元年12月）を抜粋したもので、基本構想において検討を行ったものではありません（長島町学校施設等長寿</p>

用を考えておく必要・少なくとも検討しておくことが必要と思います。

・初期投資分とランニングコストを分けて考える。40年という期間でひとくくりにしてありますが、まず実際の耐用年数を付す必要があるように感じます。また、光熱費の増加予測、スクールバス運用コストも入れることが大事です。この2つを検討したデータは、統合方法へのプラスの結果になると思います。施設関連費のコスト減が～年以上施設を運用すればプラスになっていくのかなどを示せると統合の意味を支持できる論拠になると思います。

②①で～年以上ならプラスになっていくかを示せたとしても、生徒・児童数が少ないと効果的ではありません。P7で示された世帯数・人口の推移と生徒数の推移に加えて「世帯数や人口の減少理由」が示せると良いと思います。

人口減少数の内訳で、転出者数が多いからか、死亡数が多いからか、考慮する必要があります。(場合によっては当時の出生数も必要になると思います)もし死亡による人口減の割合が多いのならば、人口減少を生徒減少の要因として、過大評価してしまうリスクがみえてきます。

もし転出による人口減の割合が多いのならば、何らかの理由(教育上の理由も含まれるかもしれない)で人が出ており、転出理由が「教育環境」であればすぐに対応することの理由に繋がられると思います。

転出者や在住者で中学生のいる世帯のアンケートを取り、現場で必要なことを明らかにする事が重要ではないでしょうか。

アンケートをとれば、そもそも再編の必要性や理想についての生の声が集まると思います。電話調査でも良いと思います。場所の選定などはそれからでもよいように思いました。

アンケート調査をしてから決めることが重

命化計画の内容は、長島町ホームページ(町政情報⇒行政情報(各課からのお知らせ)⇒教育総務課(2020.4.01 長島町学校施設等長寿命化計画を策定しました))よりご確認くださいませ。

なお、基本計画の検討においては、アスベストが確認された場合・確認されなかった場合の概算の解体コストやスクールバスのランニングコストなどの算出を行い、再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想P19に記載の「中学校施設整備指針(令和4年6月24日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。

令和2年10月～令和3年9月の人口動態をみると、本町の自然減(死亡-出生)は97人、社会減(転出-転入)は90人となっており、大きな差はありません。社会減の理由は不明ですが、国立社会保障・人口問題研究所による将来予測では、2015年からの30年間で本町の10～14歳人口は約半減すると予測されていることから、人口減少・少子化が進行していると考えられます。

基本計画の検討にあたっては、近い将来、中学入学予定の子どもがいる家庭等を対象にアンケート調査を行い、計画の参考とすることとしております。

	要と思います。何とかしてアンケートを実施してください。お願いします。	
60	長島本島地区における小・中学校再編方針 ・小学校、複式学級の解消 ・中学校、1校に再編 上記、いずれも妥当と考える。	貴重なご意見ありがとうございました。
61	再編場所について ・一次判定で判定終了となった川床中学校、長島中学校の敷地は土砂災害警戒くいきであることから絶対的に候補地には成り得ないのか。解除のため整備しても不可能と説明できるのか。	国土交通省が示す土砂災害警戒区域の解除の要件では、「切土により、勾配30度、または、がけ高5mの要件が満たされなくなった場合」とされています。設計等がないため事業費を算出することは困難ですが、土砂災害警戒区域の解除には大規模な造成が必要となるため、膨大な事業費が必要になるものと考えております。
62	・基本構想の一次判定結果で、判定継続二次判定となる鷹巣中学校、長島高校跡地についての判定は妥当と考える。 但し、令和4年度4回定例会で、中学校再編の根拠を作成する委託費で最新の建設費用を尊び、基本計画で明らかにし、説明会を開催してほしい。	住民説明会は、基本計画（案）策定後、本年末を目途に中学校区単位で開催する予定です。
63	現在、中学校を統合する案が有るようですが将来的には小学校も統合する必要があると思います。 長島町に小中学校（義務教育学校）を旧長島高校跡地に造るにはどうでしょうか？ 長島高校は長島のほぼ真ん中に位置する所にあると聞いたことがあります。 場所的にもいいと思いますし、スクールバスの利用で親の送迎もなしで安心だと思います。より良い環境の中で質の高い教育を受けさせてあげることが大切ではないかと思います。	一次的には中学校再編を優先してまいります。本島地区の小学校は鷹巣小学校、川床小学校、城川内小学校、平尾小学校、蔵之元小学校、伊唐小学校の6校に再編されています。今後も複式学級の解消を図るため、統合再編を進めてまいります。
64	今後の長島町の人口・世帯数の推移及び本島地区中学校の生徒数を推移、推定した場合、少子高齢化の進行により、2～3年後、人口、世帯数、本島地区中学校の生徒数に大幅に変化が生じるものと推測されます。 よって、本題外ですが、最優先課題として出水市と統合（合併）した方が今後の長島町全体で考えた場合、色々な面で得策だと考えま	学校教育の場において、現在、優先すべき課題は、複式学級の解消と中学校の再編と認識しております。市町村合併については、国や地域において新たな課題が生まれたときに検討されるべきものと考えております。 なお、中学校再編を優先させ、跡地活用については、再編後に検討してまいります。

	<p>す。</p> <p>仮に統合した場合、中学 1～3 年生、約 250 人 →170 人、3 年生は約 80 人 →スクールバスで送迎又は出水市内に下宿、下宿代は全額・半額補助金を支給する、高校へ進学する為に、1 年間前倒。町が中学校は 1 校に再編可能と思料。</p> <p>また、最近では、オンライン授業も可能なのでインフラの整備は重要だと考えます。</p> <p>将来、中学校廃校の跡は、老人ホーム（町が運営）したらどうかと思います。</p> <p>参考意見としてご査収ください。</p>	
65	<p>新中学校の場所ですが平尾の旧長島高校跡地に建設を希望します。長島のおよそ真ん中であり、新しく建設することで耐震や老朽化をしばらく心配する必要がなくなります。</p> <p>そして、ネット環境を充実させて、保健室や図書室、コロナやインフルエンザで出席できなくても自宅で授業を受けることができるようにしてほしいです。（不登校にも対応できます。）</p>	<p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは、基本構想 P19 に記載の「中学校施設整備指針(令和 4 年 6 月 24 日改訂)より校地計画(抜粋)」に沿って検討してまいります。</p> <p>なお、再編後の中学校の具体的な整備内容については、基本計画後における位置の決定後、基本設計の中でワークショップ等を通じて生徒や関係者の要望を採り入れてまいります。</p>
66	<p>この基本構想（案）は、結論は鷹巣中学校と長島高校跡地に新中学校用地を選定することとなっています。ここまでは、過去検討されています。この 2 候補の具体的な比較資料を住民に示すべきです。</p> <p>（理由）</p> <p>このことは、町教育委員会が平成 26 年 3 月小中学校等統廃合推進委員会（31 人）の答申を受け「平成 27 年 4 月に旧長島高校跡地に集約」とする計画を決めて、平成 26 年 7～11 月に 9 小学校区で住民説明会や意見交換会（参加者延べ 767 人）を開催した時点で、町民には周知されているものと思われる。</p> <p>1. 町教員委は、中学校再編に対するアンケート調査を実施している。（対象者 547 人、回答者 267 人、回答率 48.8%）</p> <p>2. 鷹巣中学校区公民館長会から 1,466 人の反対書面や反対陳情が提出され、鷹巣中学校</p>	<p>再編後の中学校の位置を鷹巣中学校とするか、長島高校跡地とするかは今後策定する基本計画の中で、基本構想 P21～22 に記載の二次判定項目に従って比較検討を行い、どちらを候補地とするかを明らかにしてまいります。</p>

<p>に再編は検討されている。</p> <p>3. 一方長島高校跡地は、平尾地区の8自治会長が長島高校跡地に中学校要望(平成26年6月)</p> <p>最終意見</p> <p>* 鷹巣中学校と長島高校跡地に新中学校用地を選定することは、当時検討されていることから、基本構想(案)にはこの2候補地での、具体的な内容比較検討できる下記の資料(例)などを追加して、住民説明会に臨むべきと思う。(下記の数字は当時の教委の調べ)</p> <p>1. 敷地面積</p> <p>長島高校跡地: 57,437 m²</p> <p>鷹巣中学校: 20,775 m² (必要確保面積 24,093 m²計 44,865 m²)</p> <p>2. 建設費用</p> <p>長島高校跡地: 新築 13.8 億円・改築 10.9 億円</p> <p>鷹巣中学校: 改築 7 億円 (武道館・仮設校舎含まず)</p> <p>3. スクールバス</p> <p>長島高校跡地: 8 台</p> <p>鷹巣中学校: 7 台</p> <p>4. 生徒数・学級数</p> <p>生徒数: 306 人</p> <p>学級数: 通常学級 9, 特別支援学級 1 計 10</p> <p>5. 教諭数: 17~18 人</p> <p>* スケジュールの見直しは検討できないか。当時は平成26年の答申後平成27年に統合予定の提案であった。今回は、令和9年の開校予定である。統合再編はどうなっているのか解らない。</p>	<p>住民説明会は、基本計画(案)策定後、本年末を目途に中学校区単位で開催する予定です。</p> <p>スケジュールは、基本計画での検討結果や財源確保の状況を踏まえて、改めて検討してまいります。</p>
---	---